

—三里塚はいま、二期工事着工にむけての新たな攻撃が本格化しており、しれつな攻防のあった中にあります。……本年冒頭、大塚空港公団総裁は、二期工事着工のための条件整備として、①敷地内の用地買収、②「農業振興策」の具体化、③突貫工事によるパイプラインの完成、に全力をあげると言明し、現にそのような闘争破壊・きりくずしに総力であつて出てきているのであります。……

「公団用地貸しつけ」攻撃は、公団が農民からとり上げた空港周辺の土地をエサにして反対同盟とりわけ敷地内農家を分断・懐柔しようというものです。

悪うな二期攻撃の開始にあたり、全国の皆さんの3・30現地大結集を訴える。三里塚芝山連合空港反対同盟

「成田用水」の攻撃は、国が水を奪いとり、支配し、所詮は農民を根こそぎ支配しようとするものです。

「パイプライン突貫工事」の攻撃は、来年三月暫定貨車輸送の期限切れをひかえて追いつめられた公団のあせりかられた攻撃です。……きたる三月三〇日には、八〇年の幕明けにふさわしい大結集で政府公団に打撃を与え、全国のみなさまの御参加を心から要請する次第であります。

・日時 三月三〇日(日) 正午
・場所 三里塚第一公園

土地と水が欲しかったら、公団のいんごをきけ……「卑劣な上ない農振策」攻撃!

反対同盟の解体と土地強奪を狙う「農振策」のペテン——「公団用地貸し付け」と「成田用水事業」——

本紙三六二号で明らかにした通り、「農振策」それ自体がとんでもないペテンである。その狙いは、「公団用地貸し付けと成田用水攻撃」をもって、農民にもっとも必要な土地と水をエサに生活のなかにまで入りこみ揺さぶろうとする攻撃なのである。

それは、「公団用地貸し付け攻撃」の内容をみれば一目りよう然である。反対同盟は従来より公団の農地強奪・ボロシル4散布による農地破壊に抗し、当然にも農地を守って、農地奪還自主耕作を進めてきた。しかし、公団はこの自主耕作を「不当耕作だ!」といいなし、公団用地貸し付けの対象地としてとりあげた上で、「公団のいうことをきくならば耕作を認めてやる」と、反対同盟農民の屈服を要求してきたのである。

しかも貸し付け期限を「三〇年に限定」し、小作権の権利発生を防いだ上で……。さらに「成田用水」攻撃も全く同様に、公団が水を独占的に管理しそれをエサにして反対同盟を分断、解体せんという全く許すべからざる卑劣なやり口なのだ。

3・30現地大結集を実現し、この二期攻撃を粉碎しよう!

昨年夏の森山運輸大臣のペテン的「話し合い」路線が反対同盟のき然たる反撃の前に挫折して以降、公団は何とか「二期着工の糸口をつかもう」とやっきに策動してきた。昨年十二月には、土地収用法の期限(10年間)が切れたことにあせり、一方では軍事大国化と航空宇宙産業推進の突破口として、全力あげた「二期着工」のチャンスを狙ってきた。今回一挙に全面化してきたこの公団の「農振策」攻撃こそ、かつてない陰けん卑劣な農民追い出し土地強奪の二期攻撃そのものなのである。われわれは断じてこれを許してはならない。

反対同盟行動副隊長の熱田一さんは、「土地は貸します、水も提供します、畑も平にしてあげます——なんていったって誰が信じられっか。14年間、政府公団のやり方をみれば「農民のため」のものであるはずがない。農民殺しのために「アメ」を流しこんで用地内と外とを土地契約と経済的なしはりつけで分断するものだ」と、きっぱりと決意を語り、今こそ、3・30現地集会の大結集をもってこの攻撃を粉碎することを訴えている。

全ての組合員の皆さん。

反対同盟のこの訴えにこたえきり、3・30三里塚現地への、かつてない最大限の動員を実現しよう!

3・30三里塚 大結集のために(その2)

ついに開始された二期攻撃に断固反撃を!